



白銀

200名の会員、100名のメイト読者を目指そう！

新日本スポーツ連盟神奈川県スキー協議会
横浜市神奈川区神奈川2-14-16トリクビル3F
Tel045-534-5557 Fax045-534-5554
発行責任者:杉田 厚
編集:古屋仁・吉越貴幸・北村理
Email: mail@kanagawaski.org
URL: <https://kanagawaski.org>

2024年 年頭にあたって

神奈川県スキー協議会 会長 杉田 厚

新年おめでとうございます。

年末からスキー場で過ごされた方も家族そろっての正月を過ごされた方も、新しい年に健康で健やかな日々、また生涯スキーを楽しまれていることにお互いエールを送りあいましょう。

さて、世界に目を向ければ心痛めることが続いています。

ロシアのウクライナ侵略とイスラエルのガザ地区虐殺と言うべき戦争が世界中の人々を悲しませています。

罪もない市井の子どもたち、女性の多くが犠牲になっています。

世界中の心を一つに戦争停止に向けた声と運動で一刻も早い終結を迎えましょう。「スポーツは平和とともに」の理念を発信していきましょう。

地球温暖化の問題も私たちだからさらに関心を寄せずにいられません。

昨年、全国勤労者スキー協議会は“PROTECTOURWINTERS JAPAN (略称 POWJAPAN (パウジャパン))”に参加し、温暖化を防ぐ取り組みに積極的に関与しています。

私たちができること、

例えば、フッ素入りのワックスを使わない。

例えば、飲み物はマイボトルで！

とか、できるところから環境保全への意識を醸成し、また環境問題を学び、行動しましょう。

今年の冬は暖冬と言われ、今のところ一部地方にドカ雪が降りスキー場に雪がない状態です。

私たちにとってこの上ない楽しみの1つであるスキーやスノーボードがずっとできる冬を取り戻していきましょう。

そして、その楽しさを多くの人々に伝え、仲間に迎え入れ楽しさを倍増させる1年にしていきたいと思います。



「進歩を実感」「一生スキー続けたい」 第57回スキー祭典正月コースに33人

正月コース学校長 杉田 厚

2023年12月30日の深夜から翌24年1月2日まで、川場スキー場を会場にスキー祭典を開催しました。

参加者は5家族17人を含む総勢33人。

「学生時代に滑っていたけどそれ以来のスキー」「十数年ぶりのスキーです」など、昔やったスキーを家族ができて子どもたちと一緒に楽しみたい人たちや「何十年ぶりのスキー」という高齢者の方々と常連のみなさんの参加でした。

ホテル星亭に宿泊しながらオープン延期のオグナほたかスキー場から川場スキー場に会場を移して3日間楽しみました。

ホテル星亭から川場スキー場まではバスで約40分。想定外の長距離移動で初日は時間が押してあたふたした運営になってしまいましたが、それでも実行委員の知恵を発揮しながらなんとかトラブルもなく運営できました。

川場スキー場も雪不足から、初日は2コース、2日目と3日目は3コースのオープンでしたが、それぞれのコースで緩斜面、急斜面、新雪交じりのふかふか雪質コースと教室やフリー滑走を存分に楽しめる会場でした。

教室は、初心者から上級者まで6班に編成し、8人の指導員が当たりました。

初日のビデオ撮影・上映会は各指導員がスマホを用いて撮影するという方式にし、撮影のための集合や時間待ちをなくし効率よく進めました。

がしかし、“スマホは横画面で撮影を”が守られず縦の小さな画面になってしまったり、“映したのに映ってない”などのアクシデントもありましたが、翌日もスマホ撮影とビデオ上映を行い全員の上映を行うことができました。



指導員から共通して出されていたのは“2日間でびっくりするほど上達している”ことでした。

参加者のみなさんも満足されたのではないのでしょうか

2日目の夜の交流会も“ジャンケン列車”で大いに盛り上がりました。

なお、雪上運動会は雪不足から中止となり残念でした。



白銀は2号を発行。参加者の皆さんの声を紹介します。

- 2日間の教室で自分が考えていた以上に上達できました。
スキーをととても楽しめました。ありがとうございました。
- ◆ 今年もやってきました！オグナほたかは残念でしたが KAWABA は初めてでしたので良かったです。
スキーだけではない、人と人とのつながりの良さも、ここの魅力です。
- 元旦からスキー三昧なんて贅沢は何十年ぶりです。
ゲレンデも昨日から一転パウダースノーで気持ちよく滑走できました。
PMからはパノラマコースもオープン、上からレストハウスまでDH 3kmは気分爽快で上越とは違う雪質に群馬北部エリアのスキー場の良さに認識を新たにしました次第です。
また宿の食事也大満足、星亭の皆様によるしくお伝えください。
- ◆ 実践できてませんがだいぶわかってきました。
忘れないうちにまた滑って一生スキー続けたいです。
ありがとうございました。
- 頂上の方まで行けて新雪滑れて良かったです！
1日満喫できて楽しめました！
山の上からの景色が綺麗でした！
新年度良いスタートが切れました！



〜〜

第57回スキー祭典 年始コース

年始コース学校長 齊藤 和敏

年始コースとして1月の3連休（1月6日～8日）に設定、31名での初の開催となりました。
正月コースと同様に、雪不足のため「オグナほたかスキー場」が使えないため、1時間弱をかけて「川場スキー場」に移動しました。

川場スキー場は東京近郊からのアクセスがよく日帰りスキー場として聞いていましたが、行った事はなく、一体どんなコースだろうと思っていました。

到着すると目に飛び込んできたのは、5階まである巨大な立体駐車場、エレベーターで7階まで上がり、出たところがゲレンデの最下部という、崖の上のポニョ、でなくスキー場が広がっていました。

8階の食堂で開校式を行い、杉田実行委員長から、「安全に心がけ、楽しい思い出を作ってください。」の言葉があり、その後、各班に分かれてゲレンデに出発しました。

コースは初級用の桜川コースとこの上部から降りてくる白鳥コースの2本のみでしたが、この初級コースは長さが1.3kmもあり、中間は5～6度だが最下部は16度と、初心、初級者にはなかなか厳しいコースでした。

午後にクリスタルコース（初級者コース）が開き、緩斜面ですが2kmもあります。

教室としては、ボードが3クラス、その内2クラスはマンツーマン。!(^^)!

スキーは指導員養成コースも入れて6コース、こちらも2コースがマンツーマン!(^^)!と参加者第一の指導員配置となりました。

初日は天候もよく春スキーのような陽気で各クラスとも楽しい初日だったようです。

その日の夕食後にビデオ鑑賞会。携帯で撮った動画をテレビに映し自分が今どんな滑りをしているのか鑑賞しあいました。(ちょっと恥ずかしい!)



2日目は、前日と打って変わって気温が下がり風も強くバーンがコチコチになってしまい、エッジもたたない状態で、本来はもっと上達するはずが・・・なんせゲレンデ最下部の標高が1300mですから、(@_@) 自然にはかないませんね。

夕食後に再びビデオを鑑賞しながらの交流会。

指導員から身体の使い方、などの話とともに各生徒さんの良いところや、質問にも答えていました。

夜はこの日が最後なので、「さらに交流会しませんか」の声に合わせ、指導員部屋で参加者も入って大宴会 (*。*) 大盛り上がりとなり、春祭典の予約の話までありました。

こちらのほうでも、楽しい思い出を作ったようです。



3日目は午前のみでフリー滑走の日。

前夜から雪が降り、15cmほどの積雪。

この雪で「オグナほたか」は明日からオープンするとのこと、残念ながら川場スキー場に移動となりました。

「オグナほたか」でも感じたことですが、川場も雪質はサラサラ。来年こそは、宿近の「オグナほたか」ゲレンデに行きたいと強く思いました。

最後に、能登半島地震に伴い、参加者の皆さんに支援募金をお願いしたところ、総額26,000円の募金が集まり、赤十字を通じて被災地に届けさせていただきます。ありがとうございました。



神奈川県スキー協 オープニングフェスティバル2023

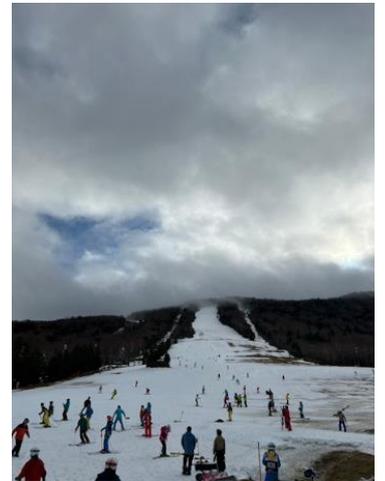
神奈川県スキー協議会 事務局長 吉越 貴幸

神奈川県スキー協のシーズンインイベント、オープニングフェスティバル2023が12月16日～17日の日程で、志賀高原一ノ瀬ファミリースキー場にて開催されました。

参加者は講師含め5クラブ、35名した。

前週までは積雪もそこそこあり安心していましたが、直前の大雨によりゲレンデは大打撃！滑走エリアが半分近くにまで狭まってしまいましたが、スキーヤー・スノーボーダー思いのほか多くなく、スキー指導員研修2班（齊藤和敏講師、吉越貴幸講師）、スキー教室2班（杉田厚講師、佐々木睦明講師）、そして久しぶりのスノーボード教室（宮川秀久講師）を無事開催することができました。

そのほか、フリースキーのグループも含め、皆さん初滑りを大いに楽しみました。



1日目は大雨の影響と高温でまるで春スキーのような雪質で、重い雪に皆さん足を取られて苦労されていましたが、二日目は急激に気温が下がり続けて午後には-7℃で一気に氷の世界！エッジが効かずに苦労されていました。

そんな中でも皆さん安全な滑走を心がけていただけただけで、目立ったケガもなく無事日程を終えることができました。

今回は千葉県連盟の佐々木事務局長がスキー教室の講師とし



て、千葉スキー協の東山会長もスキー教室に参加していただきました。

「神奈川のお隣さん」として千葉の皆さんとは頻りに交流していますが、東山会長は横須賀出身、実家がスノーボード講師の宮川秀さんの自宅そばということで、夜の懇親会も大変盛り上がりました。



〜〜

晴天のもとスキー場オープン日にスノブリクラブオープニング

12月23日～24日 池の平アルペンブリックスキー場

スノーブリーズ SC 杉田 厚

県オープニングフェスティバルの翌週にあたる 23 日～24 日にクラブオープニングを初めて企画しました。

すると、やっぱりというか参加者が 4 人、3 人、2 人と減っていき、おまけに妙高高原スキー場エリアは小雪でオープンできずという状況。

さらには、21 日から 10 年に一度の寒波襲来で高速道路・一般道ともに計画的通行止めの可能性ありということで、残念ながら中止としました。



ところが、寒波襲来によりスキー場はオープンとなり、24 日の日帰りでしたが、池の平アルペンブリックスキー場で 3 人でオープニングを楽しみました。

ゲレンデは積雪 50 cm くらいで、細かい凸凹があり滑りやすいバーンとはいきませんでしたが、適度な斜度、幅広に大満足でした。

2023～24シーズン 各クラブ行事予定

クラブ	行事名称	日程	会場(スキー場)
悠遊SC	尾瀬岩鞍スキーまつり	2月7日～9日	志賀高原スキー場
スノードルフィン	2月スキー	2月9日夜～12日	池の平アルペンブリックススキー場
神奈川県スキー協	奥信濃アルペン2024	2月10日～11日	戸狩温泉スキー場
DSSC	スキーフェスティバル	2月16日～18日	志賀高原・焼額山スキー場
エルベSC	エルベフェスティバル	2月16日～18日	丸沼高原スキー場予定
悠遊SC	平日交流スキーIN 越後湯沢	2月20日～22日	越後湯沢周辺のスキー場
全国スキー協	全国競技大会	2月24日～25日	湯の丸スキー場
神奈川県スキー協	初級指導員検定会	3月2日～3日	戸狩温泉スキー場
モルゲンロート	モルゲンスキー	3月2日～3日	オグナほたかスキー場
悠遊SC	志賀高原スキーまつり	3月3日～5日	志賀高原スキー場
スノードルフィン	3月スキー	3月8日夜～10日	戸狩温泉スキー場
関東ブロック	指導員検定会	3月9日～10日	かたしな高原スキー場
スノーブリーズ	クラブスキー	3月15日夜～18日	蔵王温泉スキー場
全国スキー協	第22回デモ選	3月16日～17日	
DSSC	日帰りスキー	3月19日	
神奈川県スキー協	第49回春スキー祭典	3月29日夜～4月1日	志賀高原・一の瀬スキー場
神奈川県スキー協	第16回神奈川スキー協CUP	4月6日～7日	鹿沢スノーエリア
全国スキー協	全国技術部会	4月13日～14日	
スノーブリーズ	クラブスキー	4月19日夜～21日	かぐらスキー場
スノーブリーズ	ぽかぽかキャンプ	4月26日夜～29日	
モルゲンロート	モルゲン春スキー		かぐらスキー場
DSSC	クラブ春スキー		
スノーブリーズ	夏の企画	7月12日夜～15日	

※各スキー行事に変更が生じた場合は、変更箇所をスキー協 (mail@kanagawaski.org) へメールにて報告をお願いします。

◆編集後記◆

元旦に起こった能登半島地震により被災された方に心よりお見舞い申し上げます。

私たちスキーヤーにとっての『恵みの雪』は被災者の方々にとっては何ら試練であることを忘れてはいけません。

私たちは私たちにできる方法で支援していきましょう。
『神奈川スキー祭典』では二万六千円の災害義援金が集まりました。

義援金は日本赤十字社を通して被災地に届けられます。ありがとうございます。

(心)